



犬の歯磨き

歯磨きの必要性

- ・ 犬は歯周病になりやすい動物です。
- ・ 歯周病が悪化すると歯が抜けるだけでなく、頬に穴が開く口腔鼻腔瘻や下顎骨の骨折が起きることがあります。また、心臓、腎臓、肝臓や糖尿病にも悪影響を及ぼすことも明らかになっています。
- ・ 歯周病にさせない、悪化させない為にも、日々のケアで原因となる歯垢を取り除く必要があります。

歯磨きの進め方

STEP 1 歯磨きガム

STEP 2 歯磨きシート

STEP 3 歯ブラシを使った歯磨き

STEP1 歯磨きガム



①上顎の第4前臼歯を狙って噛ませましょう。



②すぐに飲み込まないように飼い主さんと
引っ張り合いをしながら噛ませましょう。
③少しずつ場所を変えて左右の歯で行います。

※1日1本を目安にあげてください。

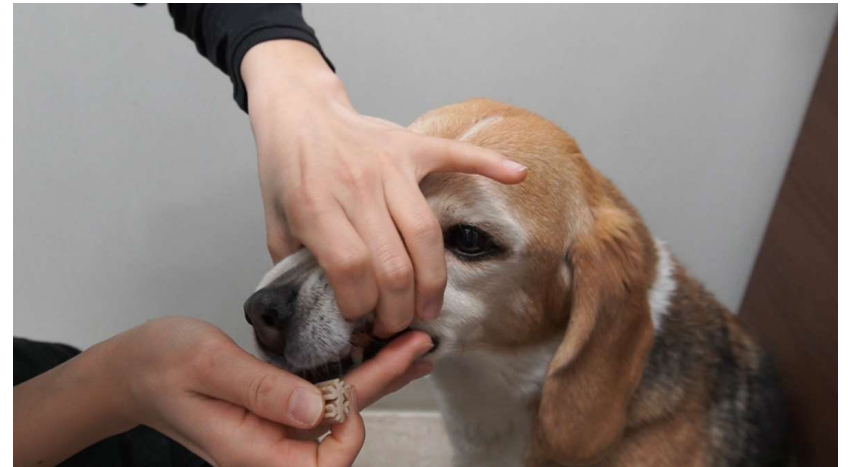
※固すぎるもの（蹄等にならないもの）はあげないでください。

STEP2 歯磨きシート

(1)口周りを触ることに慣れさせる



①口元に好物をおきます。



②ご褒美に集中している間に口元を触りましょう。

STEP2 歯磨きシート

(1)口周りを触ることに慣れさせる



③口を触らせたらご褒美をあげましょう



④慣れたら唇をめくり指を入れてみましょう。
できたらご褒美をあげてほめてください。

STEP2 歯磨きシート

(1)口周りを触ることに慣れさせる



⑤慣れてきたら、奥の歯も触ってみましょう。

STEP2 歯磨きシート

(2) 歯磨きシートを使ってみる

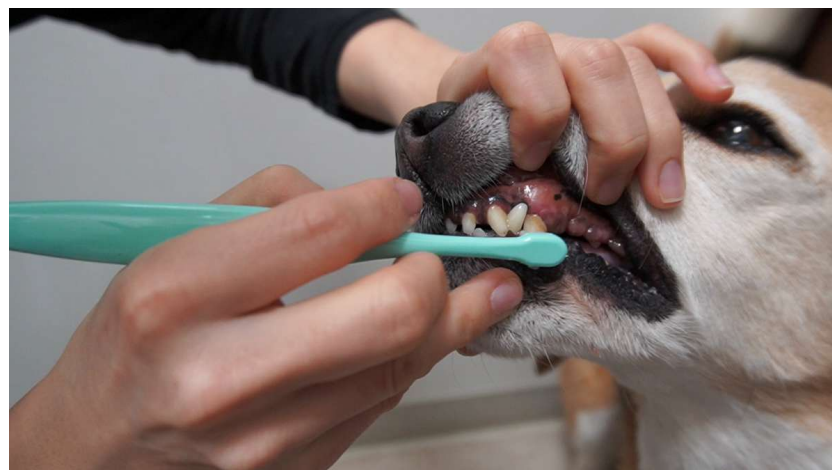


- ①口周りを触ることに慣れてきたら、歯磨きシートで歯の表面を擦ってみましょう。最初は犬歯のみ、奥歯のみの数本ずつでも大丈夫です。少しずつ1回で擦る本数を増やしていきましょう。



- ②側面だけでなく前側や後ろ側も磨きましょう。

STEP3 歯ブラシを使ってみる

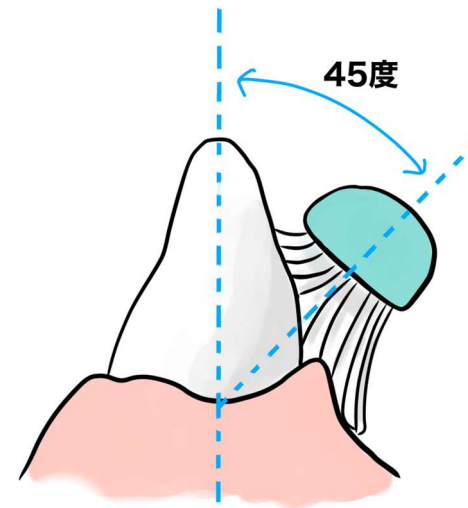


姿勢は仰向けでも正面でもやりやすい姿勢で大丈夫です！

STEP3 歯ブラシを使ってみる

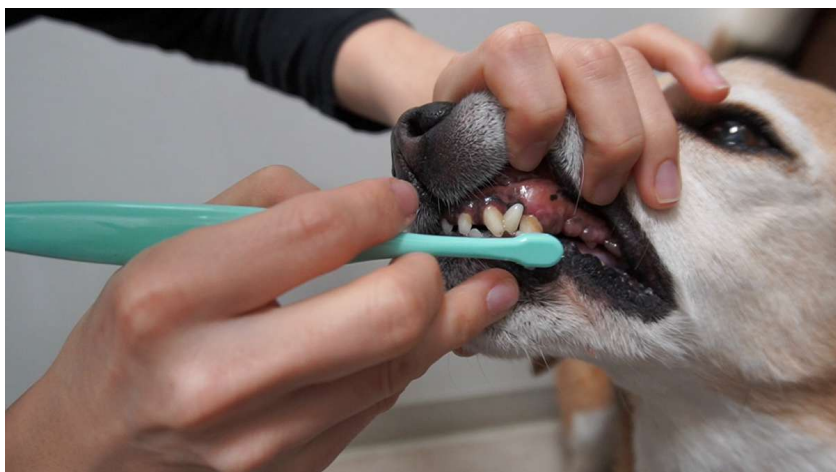


水が入ったコップを傍に置き、歯ブラシが汚れたら都度洗いましょう。



歯ブラシは歯と歯肉縁に対して45度に当てましょう。毛先が少したわむ程度に力を入れて、小刻みに振動させましょう。

STEP3 歯ブラシを使ってみる

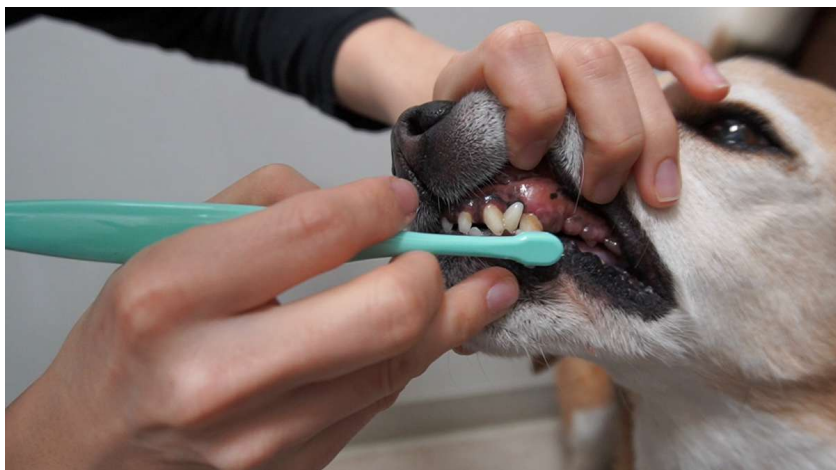


①歯ブラシを歯にあててみましょう。この際は当てるだけで大丈夫です。まずは犬歯から行いましょう。



②出来たらご褒美をあげましょう。

STEP3 歯ブラシを使ってみる



③歯ブラシに慣れたら、歯ブラシで歯を磨いてみましょう。

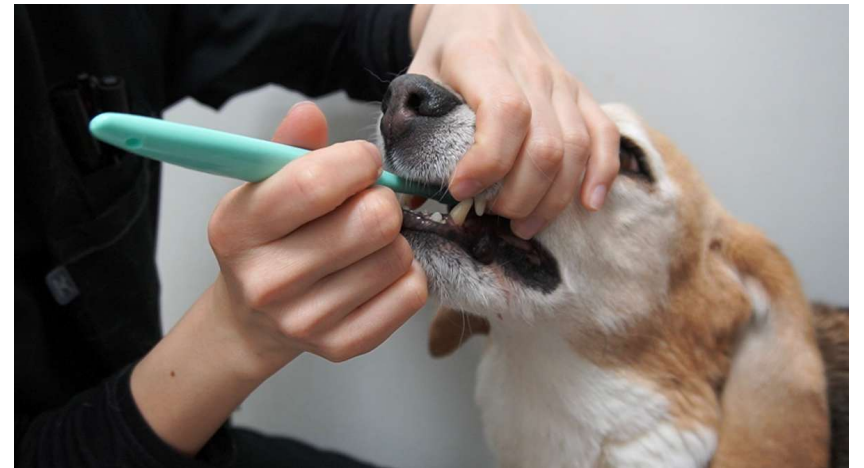


④出来たらご褒美をあげましょう。

STEP3 歯ブラシを使ってみる



⑤犬歯が慣れたら奥歯や前歯にも挑戦してみましよう。



⑥裏側は上級編です。
上顎犬歯の後ろに親指と中指を入れると口が開きます。その隙間から歯ブラシを入れて裏側も磨いてみましょう。
動物が嫌がる場合は無理をしないでください。